

「とおの里山美林推進事業」をととした森林学習

1 はじめに

遠野市では、市内の小学校及び児童館を対象に森林を身近に感じてもらうため木工教室や森林学習等を毎年3回から4回程度開催しています。この「とおの里山美林推進事業(以下「事業」)」の活動内で、遠野農林振興センターでは森林学習を実施したので、その内容を紹介します。

2 とおの里山美林推進事業の開催

令和7年8月6日に今年度第1回目となる事業が遠野市森林総合センター(遠野木工団地内)で開催されました。遠野市内の3児童館の児童41名が参加し、ネイチャーゲームと木工教室を行いました。遠野農林振興センターでは、ネイチャーゲーム「ノーズ」「きこりの親方」の講師を担当しました。



「きこりの親方」では班をつくってもらい、3児童館の子供たちが交流しながら、それぞれの班の調査木を調査しました。普段、じっくり見たり触れたり機会が無い「木」を観察し、その様子を自分の言葉で表現して皆に伝えることで、「木」を身近に感じてもらえたと思います。また、最後に答え合わせを行い、木の名前

やどんなふう加工され使われるかを説明しました。



活動の後半は、市内の協同組合ノッチ・アート遠野が製作した「木のカレンダー」のキットを使った木工教室を行いました。様々な樹種を用いていたので、子供たちは木の手ざわりや色の違いを見ながら、夢中になって工作に取り組んでいました。



3 今後の取組

地域を担う子供たちへの森林学習をととし、今後の森林保全活動や林業の担い手確保につながるよう、遠野市と協力し継続した活動を行っていききたいと思います。